

ゆうあい



題字 初代総裁三笠宮崇仁親王殿下

共に生きる

2024. 7. 31 No.59

社会福祉法人 友愛十字会



なつのさんどう
夏の参道

主 な 記 事

- 就任挨拶 コーポ友愛 ホーム長 宮崎 浩
..... 港区立障害保健福祉センター 事務長 遠井 基樹
..... 港区立児童発達支援センター 施設長 石川 恵吏
..... 港区立児童発達支援センター 施設長 久保寺 舞
- 仮施設に移転しました 東京聴覚障害者支援センター
- 工賃向上を目指し地域企業との共同開発 みなとワークアクティ
- キャリアパス研修 人材確保・育成推進室
- 介護老人福祉施設の連携 友愛荘 砧ホーム
(法人本部事務局企画部介護生産性向上推進室)

就任のご挨拶

コーポ友愛

ホーム長 宮崎 浩



このたび福祉ホーム「コーポ友愛」のホーム長（管理人）として着任いたしました。私は調布市の多摩川沿いに住んでおり、自転車

で片道40分ほどの道のりを通い続けて40年目です。福祉系の大学を卒業後、最初は当時一体的に運営されていた世田谷更生館と友愛園で10年、その後、友愛ホームで6年、砧ホームで16年半、その終盤の5年間は、砧デイサービスセンターや砧介護保険サービスと、9か月間でしたが砧あんしんすこやかセンターも兼務し、その後の5年半は再び友愛園で勤務しました。令和5年度の1年間は友愛ホームへ23年振りに出戻り、今年度からこのコーポ友愛でお世話になります。この敷地内の「世田谷施設」で、

勤務していないのは友愛デイサービスセンターだけです。

コーポ友愛には、在宅ヘルパー、訪問診療、訪問リハビリ、相談支援等の専門スタッフの皆様が約90名、定期的にいらして、ご利用者の生活を個別に支えて下さっています。大変ありがたいことです。まだまだ皆様のことを十分に理解できておりませんので、たくさんご迷惑をおかけいたしました。どうかよろしくお願いいたします。

法人の仕事も、企画部で地域連携委員会と総務部で人材確保・育成推進室を兼務しています。砧町会役員のお仲間として10年目を迎え、成城消防団第5分団3部に入団して8年半になります。世田谷区立山野小学校の委員も9年目を迎えます。（友愛十字会は、山野小学校協議会の団体会員です。）世田谷区の民生委員推薦会は8年目を迎えます。今後も皆様のご指導を頂きながら、この砧で社会福祉法人の職員として、地域のお役に立つことができそうですので、どうぞよろしくお願い致します。

就任のご挨拶

港区立障害保健福祉センター

事務長 遠井 基樹



令和6年4月1日付けで港センター事務長に就任し、児童発達支援センターに併任いたしました。遠井と申します。

3月まで、目黒区と港区、東京23区と東京都が設立した自治法上の一部事務組合である特別区・人事厚生事務組合の職員として、区民、区民を支える職員育成のため、5名の区長の下、30年余仕事を参りました。最も印象に残る事は、隣接する目黒区と港区では、区民氣質が違う事です。

目黒区民に住所を尋ねると、目黒区●町と話されるのに対し、港区民の大半は、区名を省略。高輪●丁目等と返します。区名よりも、地元への愛着が深いのでしょうか。区民に最も身近な区職員としては、この様な微妙な違いを念頭に仕事を進める事が重要で

す。

区職員となる前は、防衛大から海上自衛隊を経験してきましたが、地元・地域のご理解ご協力あつてこそというのは、自衛隊でも区でも基本の「き」。共通の格言です。

以前流行した『ゲド戦記』の作者、ル・グインは、「本は、読んで欲しい時、本棚から読者を手招きする。」と言っています。

奇しくも、勤務先の港センター建物は、目黒から港に異動した折、新築工事で地元協議をし、児童センター敷地は、旧自治大学校跡地で、購入を担当しました。私は、建物と土地に手招きされたと、縁を痛感しております。

障害者・児の福祉分野は初体験ですが、当法人の理念、感じる・創る・つながるの実現に向けて経験や人脈を活かし、名字のままの遠いではなく、利用者や同僚の皆様にとつて近い存在となるよう努力して参ります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

港区立児童発達支援センター
児童発達支援

施設長 石川 恵史



この度、令和6年4月1日付
けで、港区立児童発達支援セン
ターはお児童発達支援・総合相談
支援事業施設長に就任いたしまし
た。どうぞよろしくお願いいたし
ます。

児童発達支援センターはおの総
合相談では、0歳から18歳まで
の相談の窓口と0歳から2歳まで
のお子さんの定期的な支援、計画
相談を担っています。また、未就
学児を対象とした児童発達支援で
は、通園、個別指導、グループ支
援と様々な形態の支援を行って
おります。

お子さんの特性やニーズに合わ
せて、支援の目的や内容は様々で
すが、一人ひとりのお子さんとし
て家族が安心して楽しく通え、安心
して相談できる場になるよう、職
員一同努めております。

私は、児童発達支援センターば
おの前身であることも療育バオの
時代から、当センターに勤務して
おりました。これまで、通園や個
別指導を通して、たくさんのお子
さんとご家族に学ばせていただ
き、色々な職種の職員たちとそれ
ぞれの視点から、お子さんとご家
族にとってよりよい支援を一緒に
考えてきた経験を活かして、これ
からも、お子さんとご家族を中心
としてよりよい支援ができるよ
う、微力ながら尽力してまいりま
す。今後とも、皆様のご指導・鞭
撻を賜りますようお願い申し上げ
ます。

就任のご挨拶

港区立児童発達支援センター
放課後等デイサービス

施設長 久保寺 舞



このたび、港区立児童発達支援
センターばおで3つの事業の施設
長に就任いたしました久保寺と申
します。私はこれまで心理士とし
て働いてきており、施設長となっ
た現在も、親御さんのご心配を直
接お聞きしながらお子さんの発達
を見立てたり、担当ケースを持つ
て個別支援を実施したりしていま
す。心理士として現場の最前線に
立ちながら管理者としての仕事も
担うという、プレイングマネー
ジャーという立場をとらせても
らっています。現場感覚を大事に
しながら事業の運営にも力を尽く
していければと考えています。私
が担当しているのは以下の3つの
事業です。

「放課後等デイサービス」は、

発達につまずきのある学齢期のお
子さんに対する通所支援です。学
齢期になって初めて相談に來られ
る方も多く、困りごとの歴史が長
いと問題が複雑化していることも
多いことを痛感しており、悩みな
がら支援にあたっています。

「保育所等訪問支援」では、発
達につまずきのあるお子さんが集
団（幼稚園や学校）の場で、安定
的に過ごせるように適応支援を
行っています。地域の先生方と協
力しながら対応を工夫し、お子さ
んにも保護者にも先生方にも笑顔
が増え、とても嬉しくなりま
す。

「居宅訪問型児童発達支援」
は、感染症の恐れや医療的ケアな
どのため外出が難しいお子さん
に対して、自宅で発達支援を提供す
る事業です。お子さんや保護者の
方のご様子やご希望に合わせた細
やかな関わりが、地域でとても頼
りにされています。

ばおでは、お子さんの自己決定
力や相談力を大切にしながら、お
子さんの人生がより豊かになるよ
うサポートしていきたいと考えて
います。今後とも、ご指導・ご鞭
撻のほどよろしくお願いいたしま
す。

仮施設に移転しました

東京聴覚障害者支援センター

東京都ろうあ者更生寮（現在の東京聴覚障害者支援センター）の創設20周年記念事業として「音のない時を刻んで」という映画を自主製作しました。この映画では、1980年代当時の利用者たち

が、更生寮からそれぞれの勤務先に向かって元気に出発していく様子が描かれています。しかし、30年以上が経過し、建物の老朽化と利用者の高齢化が進み、バリアフリーの概念がない建物とそこで暮らす利用者とのミスマッチによる生活の不便さや危険度が増してきました。そのような状況下、平成27年頃から建替え計画がスタートしました。当初は代替地での新築計画でしたが、代替地が見つからず、現地で施設運営を継続しながらの2期工事計画へ変更されました。しかし、この計画で

は予想以上の期間と費用がかかり、工事を請け負う業者が見つからない状況となりました。その結果、仮の施設を確保し、現施設を解体して新築し、元の場所に戻る案に計画が見直されました。

仮施設の確保も難航しましたが、地元不動産屋さんのご協力により、元の生活圏に近い板橋区前野町に移転先を確保することができました。

令和5年度末での利用者の平均在所期間は8年で、長い人では20年を超える人もいます。在所期間に比例するように荷物は増え、施設への思い入れも強くなり、移転への不安も大きくなります。利用者には、手話や音声日本語を含む複数のコミュニケーション手段を用いた事前説明会を開催し、不安を払しょくする努力が行われました。

更に、施設として50年分の書類や荷物を整理する作業は、想像以上に大変なことでした。

令和6年6月1日の移転当

日、快晴のもとで旧施設からの送り出しと仮施設での受入れ班に分かれて作業が行われました。昼食までを移動のタイムリミットとして緻密に計画されたスケジュールに従い、利用者の移動は順調に進みました。

午後からは引越し業者が運び込んだ書類や荷物の整理、0A環境の最低限の整備、服薬や入浴などの生活習慣を維持するための環境整備を行いつつ、利用者個別に仮施設各室の使い方やエレベーターの操作方法の説明、各居室の荷物整理などの利用者個別対応を実施。その中で同時に湧き上がる「あれが無い」「これができない」といった声を整理、対処しながら、17時過ぎにようやく一息つける時間を設けることができました。

職員の連携プレーはまさに神業のようで、移転当日の嵐のような一日を見事に乗り越えたことは、当事業所の強みであると感じました。

移転から1カ月が経過しましたが、利用者の中にはまだ環境の変化に馴染めない人もいます。新しい環境での生活が、利用者の皆さんにとって楽しく充実したものとなることを願い、仮施設での不便を理由にして支援の停滞を生じさせぬよう、職員みんなで引き続き努力して参ります。



工賃向上を目指し

地域企業との共同開発

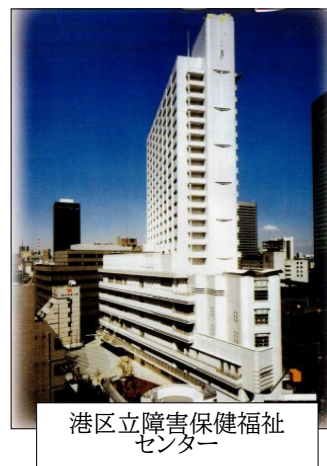
港区立障害保健福祉センター
みなとワークアクティ

施設長 柴田 泰礼

浜松町駅から徒歩10分にある、

港区立障害保健福祉センターみなとワークアクティは、一般就労が困難な障害がある方に仕事を提供し、生産活動や就労支援、生活支援を通して、ご利用者の自立を支援する通所事業所です。活動の中心である生産活動は、①焼き菓子製造する「製菓」②軽作業を行う「受注」③屋外の「公園清掃」④製造した焼き菓子販売や喫茶業務の「販売」の4つの事業になります。

就労継続支援B型事業所は、ご利用者に、生産活動に係る事業の収入から必要な経費を控除した金額を工賃として支払います。令和4年度の全国平均工賃月額17,031円で時給に換算すると243



港区立障害保健福祉センター

円であり、当事業所における令和4年度の平均工賃月額は、22,667円で時給換算すると275円でした。また、B型事業所は、ご利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことを支援するため、工賃の水準を高めるよう努めなければならぬとされており、当事業所においても工賃向上を目指す取り組みを行っています。

そこで、誕生したのが「スノーボール・プレミア」です。

同じ港区内の企業であるシクミオ株式会社からの発案、ご尽力を賜り、従来からある商品「スノーボール」のパッケージを当事業所と共同開発しました。当該企業からは、ダイレクトメール等の封入封緘を中心とした仕事を継続的に発注いただき、ご支援して頂いて

いる企業です。

パッケージには、花文様アーティストのデザインによる港区の木「ハナミズキ」、花「アジサイ」が当事業所キャラクター「みなのはし」とともにあしらわれています。

「スノーボール・プレミア」は、お客様のオリジナルのイラストやメッセージを入れることができるパッケージであり、結婚式やバレンタインなどの様々なイベント用にもアレンジできます。また、中身のスノーボールは、プレーン、いちご、抹茶、ココア、紅茶の中から選べます。

さらに、プレミアシリーズ第2弾として、今年の夏頃から、スノーボールだけでなく、マドレーヌやショートブレッドなどの商品にも対応する新パッケージ「プレミア・ボックス」と専用ギフトケースが登場する予定です。プレミア・ボックスとギフトケースは、黒色を基調とした落ち着いたデザインで、今までのイメージを一新しています。

外出先への手土産や御祝い事の

贈り物等に最適です。皆様からのご注文お待ちしております。



プレミア・ボックス



スノーボール・プレミア

キャリアパス研修

チームリーダーコースの開催

法人本部事務局 総務部

人材確保・育成推進室副室長

鈴木 健太

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程、通称キャリアパス研修は、全国社会福祉協議会が開発した研修プログラムで、初任者編、中堅職員編、チームリーダー編、管理職員編の4つのテキストが発行されています。全国の社協等が同じテキストを使用し、それぞれの階層別に研修が開催されており、福祉職員であれば職種を問わず受講し成果を上げることが期待できます。開発に携わられた江原常務理事の勧めにより、自身が講師資格を取得し、法人内で当研修を開催し修了証が発行できる団体登録が認められたのは平成30年のことでした。その後は講師資格者を増やし、令和3年度から今日まで初任者研修を続けて4回開催してきましたところです。手探りで始めた

法人内での研修ですので、初回は3人の講師がテキストの章ごとに交代しながら登壇する風変わりな展開となりましたが、当該研修テキストの編集委員を務められた和洋女子大学学長の岸田宏司先生のご指導をいただきながら、この間、法人キャリアパス研修としての実効性を高めてきました。

令和6年2月20、21日、法人初のチームリーダーコースの研修を開催しました。受講対象となるのは主任や副主任で、各事業所でリーダーシップを発揮している面々です。法人の将来を担うリーダーに対する研修となるので、法人や事業所の期待は大きく、講師の責任もそれなりに重大です。法人内に導入することに携わった使命もあり、自身が名乗り出て当該研修の講師を担当させていただきました。講師資格を取得し6年目にして初登壇となったわけですが、あらためて講師用のテキストに向き合ってみますと、あちこちに要点が分散されており、敢えて読み込まないと理解できない仕掛けになっていました。講師の理解度が受講者の理解や満足度に影響しますので準備に妥協できません

が、とうとう理解が進まなくなっても岸田先生に相談して解決できる環境にあることはとても心強く有難いことで、当法人が採用すべき研修プログラムであることをあらためて確信した次第です。

キャリアパス研修の醍醐味の一つに、グループメンバーと意見を交わしながら各階層の職員としての行動指針を作成するワークがあります。ワークでは、メンバー一人ひとりの思いを書いた付箋を模造紙に整理し、色マジックを用いて行動指針として表現します。行動指針の立て方や模造紙のデザイン性、発表の仕方に至るまでグループ毎に違うので、その違いさえも学びとなる意義深いワークです。

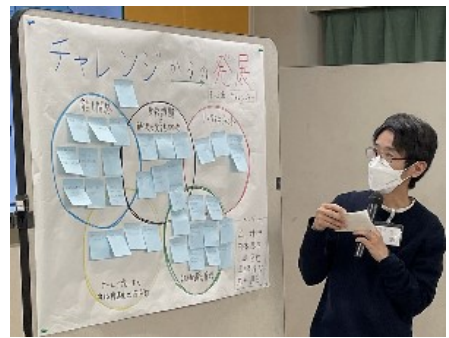
法人では、主任や副主任に昇任させる要件の一つに、チームリーダーコースの修了を位置付ける方向で検討することとしており、名実ともにキャリアパスを担う研修として、今年度中に達成する計画です。8月と9月の2回に分けて、講師はそれぞれ経験豊かな友愛園の小関園長と友愛デイの陸田部長が務めます。



チームCによる発表



MoaYonekoによる発表



チャレンジャーによる発表

介護老人福祉施設の

連携について

法人本部事務局 企画部

介護生産性向上推進室長 鈴木 健太



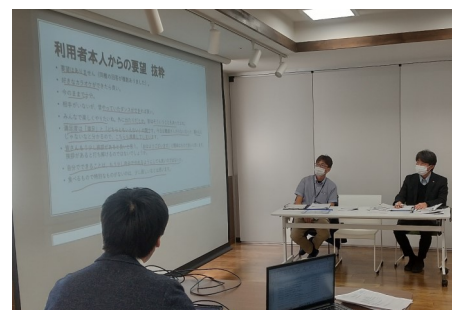
友愛十字会は、高齢、障害、児童の福祉分野で様々な事業を展開しています。特別養護老人ホーム友愛荘（町田市）と砧ホーム（世田谷区）が唯一同じ事業を行っている施設として姉妹施設の関係にあります。姉貴分の友愛荘は1974年11月の開設で間もなく50周年を迎え、妹分の砧ホームは1992年4月の開設で32周年目を迎えています。法人内の同種の施設ですが、地理的に離れていることもあり、組織的な交流機会もなかなか実現することができずにいたかも知れません。

この2つの施設の関係がより密接になったのは、令和5年度の異動がきっかけとなりました。砧ホームの施設長が友愛荘の施設長に、砧ホーム

の施設長に砧ホームの介護部長が就任しました。もともと距離感なく十分な意思の疎通がとれている両者がそれぞれ介護老人福祉施設の施設長として連携することで、施設間の相互作用による成果を確実に共有することが可能となりました。自身は介護生産性向上推進室長を拝命しており、働きやすく働き甲斐のある職場づくりの横展開をミッションの一つとして、法人から特に後押しをいただいているところです。

第三者評価の受審における連携

両施設が同じ第三者機関を受審するとともに、講習会を合同で行う契約とすること、講習会そのものが互いの施設を理解する機会となりました。また、両施設を審査した同じ担当者の視点から講評を受けることができたので、自施設の強みや弱みに対するアドバイスがより現実味を帯びて伝わるという効果もみられました。今年度の契約においては、同時受注に伴うコストカットも実現しています。



成果報告会の開催における連携

成果報告会は、各職種から1題ずつパワーポイントで資料を作成し、一年間の活動の中から成果を報告するという「学び愛」「讚え愛」「成長し愛」を実践する機会です。砧ホームにおいて年度末の恒例イベントになっていきますが、これも2施設合同で開催することにしました。友愛荘においては初めての報告の体験であり、砧ホームにおいては初めての体験の報告を聞くのは初めての体験でしたが、誰もが胸の内では友愛荘の底力を感じたのではないかと確信し

ています。切磋琢磨という言葉が相応しい“愛”に溢れる報告会になりました。



これらは連携における主なトピックスですが、顔の見える関係づくりが促進し、今では日常的に職員間の交流が盛んに行われています。形式上の姉妹施設が、本物の姉妹になったという訳ですが、法人の新たな価値として良質な連携をもとにじつくりと“愛”を育んでいきたいと思いま

善意のかずかず

次の方々から利用者及び施設に対しまして「奉仕等」を賜り、また、善意の金品のご寄贈を頂きましたこと
に対して、心より御礼申し上げます。
(令和5年12月1日) 令和6年6月30日

奉仕活動

○世田谷更生館

福永 春美
渡邊 砂代里

○友愛園

慶応義塾大学 ライチウス会
友愛デイサービス

○友愛デイサービスセンター

鎌田 セツ
川口 栄子
菅田 悦子
寿乃田 雅子
田中 寿美枝
田村 正子
森崎 千鶴
世田谷パブリックシアター

○友愛荘

中島 公明
中島 健雄
中島 寿子
野崎 千寿
船崎 直子
松永 誠子
松本 拓也
松本 莉奈
山崎 芳男
天理教北多摩支部

○港区立障害保健福祉センター

一山 陽子
伊藤 恵一
岩崎 智子
岡田 藤子
小林 和子
定方 義和
武田 敦子

竹之内 公恵
泥谷 隆史

寄付金

○友愛ホーム

上井 正次
碓氷 ホーム

○友愛デイサービスセンター

中杉 博子
糟谷 昭雄
堀江 徹二郎
東京聴覚障害者支援センター

寄付物品

○本部

祖師谷南商店街
祖師谷南商店街 婦人部

○友愛園

長島 知教

○友愛ホーム

アンカー・ジャパン株式会社
アンホーム

○友愛デイサービスセンター

久保 祐一
久保 祐一
久保 祐一

○友愛荘

東京聴覚障害者支援センター
東京聴覚銀行

○友愛園

大岡 昌江
港区立障害保健福祉センター
アンカー・ジャパン株式会社
港区立児童発達支援センター
(一社) 東京馬主協会

職員異動

(令和5年12月1日)
令和6年6月30日

○採用

港区立障害保健福祉センター
(港区立児童発達支援センター併任)
事務長 遠井 基樹

○就任

コーポ友愛 ホーム長 宮崎 浩
(6 / 28 常務理事就任)

○昇任

港区立児童発達支援センター
児童発達支援・総合相談事業所
施設長 石川 恵吏
港区立児童発達支援センター
放課後等デイサービス・保育所等訪問
支援・居宅訪問型児童発達支援事業所
施設長 久保 舞

○併任解除

コーポ友愛 ホーム長 田村 英治
港区立児童発達支援センター
児童発達支援・総合相談事業所
放課後等デイサービス・保育所等訪問
支援・居宅訪問型児童発達支援事業所
施設長 小泉 達也

○退任

港区立障害保健福祉センター
事務長 大滝 裕之

表紙写真・碓氷ホーム主任 坪谷 聖一
(壺屋) 写真賞、受賞歴
第40回 「日本の自然」 写真コンテスト
デジタル部門入選 他

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
夏の風物詩の花火。特に日本の花火は質も高く海外からも高い評価を受けているそうです。一方で、この物価高の影響で、花火大会が赤字に。日程を短縮したり、打ち上げ数を少なくしたり、観覧席を有料にするところも。最悪の場合は中止となるイベントもあるようです。そんなご時世ですが、ご自宅から花火を楽しめる方もいらっしゃるのでは？編集委員一同、取材に伺わせていただきますので、是非ご連絡を(笑)

《第六十号は、令和七年一月一日発行予定です》
ゆうあい編集委員会 副委員長
友愛園 施設長 小関 英利

ゆうあい 第五十九号
令和六年七月三十一日

発行 社会福祉法人 友愛十字会
発行人 酒井 健治
所在地 東京都世田谷区
電話(〇三)三四一六―三二六四
<http://www.yuai.or.jp>